



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
コード番号 3086
代表者名 代表執行役社長 小野 圭一
お問合せ先 コーポレートコミュニケーション室
TEL 03-6865-7621

2025年5月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告 (IFRS)

1. セグメント別売上収益 (売上高) (対前年増減率: %)

Table with 2 main columns: 売上収益(IFRS) and (参考)総額売上高. Each column has sub-columns for 5月度 and 上期累計. Rows include 百貨店事業, SC事業, デベロッパー事業, 決済・金融事業, その他, and 連結合計.

※注) 1. 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。
2. 総額売上高はIFRS売上収益のうち「百貨店事業」の消化仕入取引を総額に、「SC事業」の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しています。
3. 各セグメントの対前年増減率は、それぞれを構成する事業会社の単純合算により算出しており、セグメント内消去を含みません。
4. 松本PARCOは、2025年2月末日をもって営業を終了しました。

2. 事業別の概況

1) 百貨店事業

- 5月度の売上高は、化粧品、アクセサリ、食品等が売上を伸ばしたほか、国内の外商売上も堅調に推移したものの、ラグジュアリーブランド、時計、宝飾品等の高額品が前年実績を下回ったことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲1.8%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲3.2%減となった。
大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年▲39.7%減(客数同2.9%増、客単価同▲41.5%減)となった。大丸松坂屋百貨店の国内売上高(免税売上の本年・前年実績を除く)は対前年4.3%増であった。
なお大丸松坂屋百貨店の6月度の既存店売上(法人・本社等を除く)は、外商売上が好調を継続しているものの、訪日外国人売上の大幅な減少により、15日までの累計で対前年▲5.3%減で推移している。
6月度の免税売上高は対前年▲31.8%減(客数同0.8%増、客単価同▲32.3%減)、国内売上は同0.3%増で推移している。

2) SC事業

- 店舗別では、訪日外国人客の取り込み強化、前年からの改装効果などにより15店舗中13店舗が前年を上回り、全店計で6.2%増(既存店7.2%増)。特に訪日外国人客の取り込みの効果が大きかったPARCO_ya上野は20.7%増、心齋橋PARCOは10.1%増、新規大型キャラクターショップ等の改装効果により名古屋PARCOが15.5%増、仙台PARCOが13.5%増の大幅伸長となった。また、改装による一部休業影響により池袋PARCOが▲3.0%減となった。

3) デベロッパー事業、決済・金融事業、その他

- デベロッパー事業は、J.フロント建装がラグジュアリーブランド内装工事などの好調により大幅増収となったほか、パルコスペースシステムズも増収となり、全体でも大幅な増収となった。
決済・金融事業のJFRカードは、加盟店手数料が増加したものの、ポイント費用の増加などにより減収となった。
その他は、卸売業の大丸興業で、自動車部品が減収となったものの、電子デバイスが好調を継続したことにより増収となり、全体でも増収となった。

【お問合せ先】 J.フロントリテイリング株式会社 コーポレートコミュニケーション室
IR推進担当 TEL 03-6865-7621
グループ広報担当 TEL 03-6865-7616

2025年5月度 百貨店事業 営業報告(総額売上高)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

	5月度		上期累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心斎橋店	▲16.4	6.6	▲9.3	7.5
大丸 梅田店	12.2	14.2	10.6	10.0
大丸 東京店	▲4.0	0.1	▲5.3	▲2.7
大丸 京都店	▲19.8	1.0	▲13.8	▲1.2
大丸 神戸店	▲3.6	▲3.0	1.7	▲2.8
大丸 須磨店	▲2.5	2.8	▲4.3	5.2
大丸 芦屋店	2.1	▲3.0	0.8	▲1.8
大丸 札幌店	0.4	4.5	0.1	3.5
大丸 下関店	▲8.9	1.1	▲10.9	▲2.6
松坂屋 名古屋店	▲0.5	1.5	▲0.5	▲0.9
松坂屋 上野店	6.5	9.2	1.4	4.0
松坂屋 静岡店	▲1.2	▲4.1	1.2	▲8.5
松坂屋 高槻店	0.3	0.8	▲0.8	1.6
店 計	▲5.1	4.3	▲2.8	2.3
法人・本社等	66.5	-	33.1	-
大丸松坂屋百貨店合計	▲1.8	4.3	▲1.2	2.3
うち商品売上高	▲1.9	-	▲1.4	-
うち不動産賃貸収入	▲0.1	-	2.0	-
博多大丸	▲21.9	▲0.9	▲17.5	▲1.0
高知大丸	▲3.4	▲3.8	▲1.5	▲3.8
百貨店事業合計	▲3.2	3.9	▲2.3	2.1

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	上期累計
紳士服・洋品	▲4.2	▲5.9
婦人服・洋品	▲14.2	▲8.2
子供服・洋品	▲0.9	▲8.6
その他の衣料品	▲18.1	▲16.7
衣料品計	▲13.2	▲8.2
身 回 品	30.8	18.1
化粧品	5.6	8.3
美術・宝飾・貴金属	▲0.5	▲2.3
その他雑貨	▲5.5	▲29.1
雑 貨 計	2.2	1.4
家具	▲3.4	▲1.2
家電	▲30.8	▲5.7
その他の家庭用品	6.8	4.0
家庭用品計	4.0	2.7
生 鮮	▲0.0	▲0.2
菓 子	18.7	9.0
惣 菜	4.8	2.5
その他食料品	4.5	1.8
食料品計	9.2	4.6
食堂・喫茶	6.4	3.2
サービス	33.6	19.2
そ の 他	37.0	16.5
合 計	▲1.9	▲1.4

3. 営業概況

- ・ 婦人服・洋品は、国内売上は堅調だったものの、訪日外国人によるラグジュアリーブランド売上が大幅に減少したことなどにより、前年実績を下回った。紳士服・洋品は、スーツやポロシャツなどの不調により対前年マイナスとなった。身回品では、アクセサリ、婦人肌着が好調に推移した。雑貨では、訪日外国人売上の増加などにより化粧品が好調を持続した。食料品では、価格高騰によるマイナス影響は継続しているものの、物産展の好調などにより、対前年プラスとなった。

2025年5月度 パルコ店舗 テナント取扱高報告

※「テナント取扱高」とは、パルコ店舗におけるテナント取扱高(売上)の合計値で、前年の値も同じ基準で集計いたしております。

1. 店舗別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	5月度	上期累計
札幌PARCO	10.8	12.0
仙台PARCO	13.5	7.1
浦和PARCO	5.7	2.3
池袋PARCO	▲3.0	▲1.8
PARCO_ya上野	20.7	15.2
ひばりが丘PARCO	8.1	4.8
吉祥寺PARCO	14.4	7.1
渋谷PARCO	1.7	1.8
錦糸町PARCO	6.0	6.5
調布PARCO	3.9	2.1
静岡PARCO	▲3.6	1.4
名古屋PARCO	15.5	14.6
心齋橋PARCO	10.1	16.8
広島PARCO	3.3	3.2
福岡PARCO	9.0	9.0
全店計	6.2	5.8
既存店計	7.2	6.9

※注) 1. 松本PARCOは、2025年2月末日をもって営業を終了しました。
2. 既存店計には、松本PARCOの前年実績を含みません。

2. アイテム別テナント取扱高(対前年増減率：%)

	全店計	
	5月度	上期累計
衣料品	3.6	1.9
身回品	2.4	2.9
雑貨	11.1	12.7
食品	5.7	5.7
飲食	8.2	6.2
その他	6.0	4.7
合計	6.2	5.8

3. 営業概況

- ・ 店舗別では、訪日外国人客の取り込み強化、前年からの改装効果などにより15店舗中13店舗が前年を上回り、全店計で6.2%増（既存店7.2%増）。特に訪日外国人客の取り込みの効果が大きかったPARCO_ya上野は20.7%増、心齋橋PARCOは10.1%増、新規大型キャラクターショップ等の改装効果により名古屋PARCOが15.5%増、仙台PARCOが13.5%増の大幅伸長となった。改装による一部休業影響により池袋PARCO▲3.0%減となった。
- ・ アイテム別では、全アイテムで前年を達成。雑貨が11.1%増と前年を大きく上回り、アニメやゲーム系コンテンツのキャラクター雑貨の好調により渋谷PARCO、心齋橋PARCO、名古屋PARCO、仙台PARCOを中心に伸長。飲食は名古屋PARCO、仙台PARCO、福岡PARCOなど、地方店を中心に8.2%増と伸長。